



**インストレーションガイド**  
**Oros® ABC/M 5.51**

# 序文

本書は、Oros® ABC/M 5.51の導入方法について述べたものです。お使いのマシンにOros ABC/M 5.51を導入する場合には、必ず本書をお読みください。

2003年6月

SAS Institute Japan株式会社

本書で解説するソフトウェアはライセンス契約のもとに提供されるものであり、同ソフトウェアはこの契約の条項にしたがってのみ、使用あるいは複写が許可されています。このため、御契約頂いたSASソフトウェアプロダクトを、契約書に記載されている以外のCPU上で使用された場合にトラブルが発生しても、当社は同ソフトウェアプロダクトに関する契約上の保障およびサポートを一切行いません。

本書で使用されているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

# 目次

<b>第1章</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>2</b>
1.1	必要条件の確認 .....	2
1.2	OROS ABC/Mのインストール形態 .....	2
<b>第2章</b>	<b>OROS ABC/Mのインストール(通常インストール)</b> .....	<b>3</b>
2.1	OROS ABC/Mのセットアップを起動する前に.....	3
2.2	OROS ABC/Mのインストールを始める .....	3
2.3	インストール方法(通常インストール) .....	4
2.4	インストール後の設定 .....	5
2.5	MDACをインストールしない方法.....	6
<b>第3章</b>	<b>OROS ABC/Mのインストール(ワークステーションセットアップ)</b> .....	<b>7</b>
3.1	OROS ABC/Mのセットアップを起動する前に.....	7
3.2	インストール方法(ワークステーションセットアップ) .....	8
3.3	MDACをインストールしない方法.....	8
<b>第4章</b>	<b>以前のバージョンから、OROS ABC/M 5.51へのアップグレード</b> .....	<b>10</b>
4.1	ユーザー情報の保存(登録済みUSERS情報の待避) .....	10
4.2	以前のバージョンのアンインストールを行なう.....	10
4.3	OROS ABC/M 5.51のインストール.....	11
4.4	ユーザー情報の更新(登録済みUSERS情報の復元) .....	11
4.5	モデルの移行 .....	11
<b>第5章</b>	<b>OROS ABC/Mのアンインストール</b> .....	<b>13</b>
5.1	OROS ABC/Mのアンインストールを行なう前に.....	13
5.2	OROS ABC/Mのアンインストールを始める .....	13
<b>第6章</b>	<b>テクニカルサポート</b> .....	<b>14</b>

# 第1章 はじめに

## 1.1 必要条件の確認

ハードウェア/ソフトウェアの条件は満たされていますか？

インストールパッケージに含まれている資料「Oros® ABC/M 5.51 システム必要条件」をご参照のうえ、Oros ABC/M 5.51(以下、Oros ABC/M)が必要とする、ハードウェアおよびソフトウェアの条件について確認してください。

また、インストールを行なうマシンに既にOros ABC/M 5.51以前のバージョンがインストールされている場合、以前のバージョンをアンインストールしてからOros ABC/M 5.51のインストールを行なう必要があります。この手順の詳細については、[第4章「以前のバージョンから、Oros ABC/M 5.51へのアップグレード」](#)を参照してください。

## 1.2 Oros ABC/Mのインストール形態

Oros ABC/Mのインストール形態には、下記の2通りの方法があります。

- 通常インストール
- ワークステーションセットアップ

### 通常インストール

Oros ABC/Mをスタンドアロン環境、もしくはクライアント/サーバー形態の「サーバー」マシンで使用するユーザーを対象としたインストールです。ほとんどのユーザーがこちらのタイプとなります。このインストールの詳細については、[第2章「Oros ABC/Mのインストール\(通常インストール\)」](#)を参照してください。

### ワークステーションセットアップ

サーバーとなるマシンに通常インストールを行った場合にのみ、ワークステーションセットアップを利用することができます。ワークステーションセットアップは、ネットワークサーバー上のOros ABC/Mのファイルを利用して、クライアントでOros ABC/Mを実行するために使用されます。クライアントマシンに必要最低限のファイルのみをインストールするため、クライアントマシンのディスク容量を節約することができます。ただし、サーバーにあるファイルのアクセスに時間がかかり、パフォーマンスが悪くなる場合があります。このインストールの詳細については、[第3章「Oros ABC/M のインストール\(ワークステーションセットアップ\)」](#)を参照してください。

## 第2章 Oros ABC/Mのインストール(通常インストール)

### 2.1 Oros ABC/Mのセットアップを起動する前に

Oros ABC/Mのセットアップを起動する前に、インストール先のハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください。必要なディスク容量についての詳細は、同梱の「Oros® ABC/M 5.51 システム必要条件」をご参照ください。

### 2.2 Oros ABC/Mのインストールを始める

Windows NT あるいはWindows2000 プラットフォームに対してOros ABC/Mをインストールする場合、Administrator権限を持つユーザーでインストールを行なう必要があります。

Oros ABC/Mのインストールでは、Microsoft社によって提供される MDAC (Microsoft Data Access Components)がインストールされます。MDACをインストールせずにOros ABC/Mをインストールする方法については、本章2.5「MDACをインストールしない方法」を参照してください。

Oros ABC/Mのインストールを始めるためには、以下の手順を実行してください。

1. 実行している全てのWindows アプリケーションを終了します。
2. 「OROS Version 5.51」と書かれたCD-ROMをドライブに挿入してください。CD-ROMの自動実行が有効になっている場合、「OROS ANALYTICS Autoplay」が起動されます。起動されない場合は、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、以下のように入力してください。

<インストール元ドライブ>:¥Autorun.exe

3. この画面には、いくつかの選択肢があります。
  - 「Setup Instructions」を選択すると、「Oros Setup Guide」(ヘルプ画面)を起動することができます。
  - 「Install」を選択すると、Oros ABC/Mをインストールすることができます。
  - 「Read Me」を選択すると、Oros ABC/Mをインストールする上でのRead Me ファイルを読むことができます。

- 「Release Notes」を選択すると、「Oros Release Notes」(ヘルプ画面)を起動することができます。
- 「Browse CD」を選択すると、エクスプローラが起動し、インストール元メディアのルートディレクトリが表示されます。
- 「eSupport」を選択すると、インターネットエクスプローラが起動され、SAS Institute Japanのウェブサイトが表示されます。
- 「Exit」を選択すると、「OROS ANALYTICS Autoplay」が終了します。

## 2.3 インストール方法(通常インストール)

1. 2.2 の画面で「Install」を選択してください。

MDACをインストールせず、Oros ABC/Mをインストールする場合は、本章2.5 「MDACをインストールしない方法」を参照してください。

2. インストールするOros ABC/Mの言語を選択します。「Japanese」にチェックを入れ、**Go** ボタンを押してください。
3. 「Welcome to Oros Setup!」ダイアログが表示されます。説明を読んで、**Next** ボタンを押してください。セットアップが正常に行われるように、ウィルスチェックプログラムを含む、他の全てのアプリケーションを終了してください。
4. 「Software License Agreement(契約同意書)」ダイアログが表示されます。契約条項に同意される場合は、**Yes** ボタンを押してください。
5. 「User Registration」ダイアログが表示されます。名前と会社名(任意)を入力し、**Next** ボタンを、続けて「Confirming User Registration」ダイアログが表示されたら、表示内容を確認し、**Yes** ボタンを押してください。
6. 「Product Serial Number」ダイアログが表示されます。  
はじめに、SAS Institute Japanより送付されているSerial のうち、「5xx-30」で始まるもの、およびそのSerial に対応するAuthCode (英数字を含む9桁のパスワード)を入力し、**Next** ボタンを押してください。

7. 「Do you want to enter additional Serial Number?」と表示されます。 はい を選択し、6で入力した以外のSerial およびAuthCode を順に入力してください。
8. SAS Institute Japanより送付されているSerial およびAuthCode の入力が全て完了しましたら、「Do you want to enter additional Serial Number?」と表示された画面で いいえを選択してください。
9. 「Would you like to install VCA support?」ダイアログが表示された場合、 はい を選択してください。
10. 「Choose Destination Location」ダイアログが表示されます。Oros ABC/Mのインストール先を選択してください。選択が終わったらボタンを押してください。

Orosセットアップはファイルのコピーを開始して、Oros ABC/Mをインストールします。

11. PCの再起動を求められた場合、指示に従い再起動してください。

## 2.4 インストール後の設定

PCを再起動したあと、Oros Administrator を起動します。このアプリケーションを利用すると、インストールされているOros ABC/Mのコンポーネントに対するユーザーアクセス権の設定、ソリューションやユーザーの追加などを行なうことができます。Oros ABC/Mを使用する前に、これらのコンポーネントに対するユーザーアクセス権の設定を行なう必要があります。

1. 「スタート」メニューより、「プログラム」 「Oros v5.5」 「Oros Administrator」を選択してください。
2. 左側のペイン(ウィンドウ)に表示されている項目のうち、「Admin」チェックボックスをONにしてください(右側のペインには、アクセスできるコンポーネントに対するチェックボックスがONになります)。

以上により、Oros ABC/Mが使用できる状態になります。

## 2.5 MDACをインストールしない方法

Oros ABC/Mのインストーラーは、Microsoft社から提供されているMDAC (Microsoft Data Access Components) Version 2.5(日本語版)も同時にインストールします。このMDACが既に他のアプリケーションによってインストールされている場合は、この方法でインストーラーを起動してください(MDACがインストール済みであるかどうか確認する方法については、Microsoft社までお問い合わせください)。

MDACをインストールせずにOros ABC/Mをインストールするためには、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択後、以下のように入力しボタンを押してください。

```
<インストール元ドライブ>:¥Japanese¥SETUP /NOMDAC
```

```
=====
```

これ以降のインストールの手順は、本章2.3「インストール方法(通常インストール)」の3.以降と同様です。

## 第3章 Oros ABC/Mのインストール(ワークステーション セットアップ)

### 3.1 Oros ABC/Mのセットアップを起動する前に

Oros ABC/Mのセットアップを起動する前に、インストール先のハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください。必要なディスク容量についての詳細は、同梱の「Oros® ABC/M 5.51 システム必要条件」をご参照ください。

Windows NT あるいはWindows2000 プラットフォームに対してOros ABC/Mをインストールする場合、Administrator権限を持つユーザーでインストールを行なう必要があります。

Windows NT 4.0 Service Pack 6a、あるいはWindows2000 Service Pack 3以降のサーバーのディレクトリからインストールしてください。

サーバーとなるマシンに、既にOros ABC/Mの「通常インストール」が行われていることが前提となります。ワークステーションセットアップは、ネットワークサーバーにあるOros ABC/Mのファイルを利用して、クライアントでOros ABC/Mを実行するために使用されます。

クライアントマシンには、Oros ABC/Mが「通常インストール」されているサーバーのディレクトリに対し、読み取り/書き込み/変更の権限が必要となります。

Oros ABC/Mのインストールでは、Microsoft社によって提供されるMDAC (Microsoft Data Access Components)がインストールされます。MDACをインストールせずにOros ABC/Mをインストールする方法については、本章3.4「MDACをインストールしない方法」を参照してください。

## 3.2 インストール方法(ワークステーションセットアップ)

**サーバーのディレクトリに対し、ネットワークドライブの割り当てを行ってから実行してください。UNC(Universal Naming Convention) 表記を用いると、セットアップが正しく行われない可能性があります。**

1. 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。以下のように入力し  ボタンを押してください。

<Oros ABC/Mがインストールされているネットワークドライブ名>:\<Oros ABC/Mのインストールされているディレクトリ名>\Bin\Setup\Setup.exe

実際の記述は、1行になります。なお、MDACをインストールせず、Oros ABC/Mをインストールする場合は、[本章3.3「MDACをインストールしない方法」](#)を参照してください。

2. 「Welcome」ダイアログが表示されます。説明を読んで、 ボタンを押してください。セットアップが正常に行われるように、ウイルスチェックプログラムを含む、他の全てのアプリケーションを終了してください。
3. 「Software License Agreement(契約同意書)」ダイアログが表示されます。契約条項に同意される場合は、 ボタンを押してください。
4. 「Choose Destination Location」ダイアログが表示されます。Oros ABC/Mのインストール先を選択してください。選択が終わったら ボタンを押してください。

Orosセットアップはファイルのコピーを開始して、Oros ABC/Mをインストールします。

5. PCの再起動を求められた場合、指示に従い再起動してください。

## 3.3 MDACをインストールしない方法

Oros ABC/Mをインストールすると、Microsoft社から提供されているMDAC (Microsoft Data Access Components) Version 2.5(日本語版)がインストールされます。このMDACが既に他のアプリケーションによってインストールされている場合は、この方法でインストーラーを起動してください(MDACがインストール済みであるかどうか確認する方法については、Microsoft社までお問い合わせ)

わしてください)。

MDACをインストールせずにOros ABC/Mをインストールするためには、3.2「インストール方法(ワークステーションセットアップ)」の1.にて、以下のように入力しOKボタンを押してください。

<Oros ABC/Mがインストールされているネットワークドライブ名>:¥<Oros ABC/Mのインストールされているディレクトリ名>¥Bin¥Setup¥Setup.exe /NOMDAC

=====

実際の記述は、1行になります。なお、これ以降のインストールの手順は、本章3.2「インストール方法(ワークステーションセットアップ)」の2.以降と同様です。

## 第4章 以前のバージョンから、Oros ABC/M 5.51へのアップグレード

この章における「以前のバージョン」とはOros 4.0、4.3、4.41、5.3、5.5等を指します。また、「ユーザー情報」とは、以前のバージョンのOros Administratorで登録したユーザーに関する情報を指します。

お使いのマシンに既に以前のバージョンがインストールされており、Oros ABC/M 5.51にアップグレードする場合は、必ずこちらの手順に沿ってアップグレードを行ってください。

Oros ABC/Mのアップグレードを行なうためには、以下の手順を実行してください。

### 4.1 ユーザー情報の保存(登録済みUsers情報の待避)

以前のバージョンからOros ABC/M 5.51にアップグレードする場合、ユーザー情報をOros ABC/M 5.51で引き続き利用することができます(以前のバージョンで登録したユーザー情報を5.51で引き続き利用する場合にのみ、こちらの手順を実行してください)。

ユーザー情報をOros ABC/M 5.51で引き続き利用する場合、「orosFw.dll」ファイルを保存しておく必要があります。

1. 「<前バージョンのOros ABC/Mインストール先>¥Bin¥Etc」フォルダにある「orosFw.dll」ファイルを探します。前バージョンのOros ABC/Mインストール先が「C:¥Program Files¥OROS」フォルダの場合、「C:¥Program Files¥OROS¥BIN¥Etc」フォルダの中に、「orosFw.dll」ファイルがあります。
2. このファイル名を「Fwold.dll」に変更してください。
3. 「Fwold.dll」ファイルを、任意のフォルダに移動(あるいはコピー)してください。

### 4.2 以前のバージョンのアンインストールを行なう

第5章「Oros ABC/Mのアンインストール」を参照して、以前のバージョンのアンインストールを行ってください。同一マシンに複数のOros ABC/Mをインストールし、利用した場合、動作が不安定になることがあります。

以前のバージョンで登録したユーザー情報を5.51で使用する場合、本章4.1「ユーザー情報の保存(登録済みUsers情報の待避)」で説明した「Fwold.dll」ファイル(「orosFw.dll」ファイルの名称を変更したもの)が必要となります。アンインストール時に一緒に削除されないように注意してください。

### 4.3 Oros ABC/M 5.51のインストール

第2章「Oros ABC/Mのインストール(通常インストール)」を参照し、インストール作業を行ってください。

### 4.4 ユーザー情報の更新(登録済みUsers情報の復元)

インストールが完了したら、ユーザー情報の更新(登録済みUsers情報の復元)をします。以下の手順を実行し、ユーザー情報の更新作業を行ってください(以前のバージョンで登録したユーザー情報を5.51で引き続き利用する場合にのみ、こちらの手順を実行してください)。

1. 本章4.1「ユーザー情報の保存(登録済みUsers情報の待避)」にて保存した「Fwold.dll」ファイルを、5.51をインストールしたフォルダの下にある「¥BIN¥Etc」フォルダにコピーしてください。「¥BIN¥Etc」フォルダに「Fwold.dll」ファイルがあることを確認してください。
2. Oros Administratorを起動してください。ログイン画面では「名称(N)」は「Admin」と入力し、「パスワード(P)」は何も入力せず、ボタンを押してください。
3. Oros Administratorのメニューバーより「ツール」->「ユーザーのインポート」を選択してください。
4. 「ユーザーのインポート」画面で、「使用可能なユーザー」の一覧よりインポートしたいユーザーを選択後、「>」をクリックして、「インポートするユーザー」に移動させてください。ただし、「インポートするユーザー」として選択できるユーザー数は、画面下に表示される「インポート後に使用可能なライセンス」が0になるまでです。

Adminを除くユーザーは、パスワードもインポートされます。Adminは、パスワードを再設定する必要があります。

### 4.5 モデルの移行

以前のバージョンで作成されたモデルは、5.51にてモデルを開き、保存を行なうことによって、モデルの移行をすることができます。ただし、5.51で作成されたモデルは以前のバージョンで使用で

きません。

## 第5章 Oros ABC/Mのアンインストール

### 5.1 Oros ABC/Mのアンインストールを行なう前に

Oros ABC/Mのアンインストールを行なう前に、Oros ABC/Mにて作成したファイルのうち、必要なファイル(モデルを構成するファイルなど)すべてに関し、バックアップを取ってください。また、バックアップを取る際は、Oros ABC/Mがインストールされているフォルダ(およびサブフォルダ)以外の場所に保存するようにしてください。

バックアップの必要なファイルが、Oros ABC/Mがインストールされているフォルダ(およびサブフォルダ)に保存されている場合、アンインストールを行なうことによりファイルが削除される恐れがありますので、ご注意ください。

### 5.2 Oros ABC/Mのアンインストールを始める

1. 実行している全てのWindows アプリケーションを終了します。
2. Windowsのサービスとして、「OrosCmaServer」が登録され、このサービスが開始されている場合、アンインストールを正常に行なうためにサービスを停止する必要があります。コントロールパネル内の[サービス]より(Windows 2000、Windows XPでは、管理ツール内に[サービス]があります)、「OrosCmaServer」サービスを停止してください。
3. 「スタート」メニューから「プログラム」->「Oros v5.5」->「Uninstall Oros v5.5」を選択し、Oros ABC/Mのアンインストールを行ってください。
4. アンインストール中、「Remove Shared File?」ダイアログが表示されます。ここでは **No to All** ボタンを押してください。
5. 「Remove Programs From Your Computer」ダイアログの中の **OK** ボタンがアクティブになったら、このボタンを押し、アンインストールを完了してください。
6. アンインストールが完了しても、Oros ABC/Mがインストールされているフォルダ(およびサブフォルダの一部)が完全に削除されない場合があります。これらのフォルダについては、Windowsのエクスプローラなどを利用して手動で削除を行ってください。

## 第6章 テクニカルサポート

SAS Institute Japanでは、SASコンサルタントからの技術的な質問についてFAX、電子メールでのテクニカルサポートを提供しています。

その他、World Wide WebによるFAQ(Frequently Asked Questions)などの技術情報や修正モジュールの提供も行っています。

SASに関するサポートは、SAS Institute Japanと各サイトのSASコンサルタントが共同で行います。SAS Institute Japanはソフトウェアのメンテナンスを担当し、各サイトのSASコンサルタントは直接ユーザーサポートを提供します。**SASコンサルタントが解決できないような問題に関しては、SASコンサルタント自身がSAS Institute Japanのテクニカルサポートと連絡をとります。**できるかぎり効率のよいサービスを行なうために、SASコンサルタントからご連絡ください。

テクニカルサポートでは、SASでのユーザーエラー、システムの互換性上の問題、SASステートメントの構文に関する質問、プロシジャとその出力などに関して、サポートを提供します。ただし、**特定目的用アプリケーション、ユーザープログラムの作成、新規ユーザーの教育、手法一般についての質問に関してはテクニカルサポートの範囲外となります。**これらのご相談につきましては弊社担当営業へご連絡ください。(代表) 03-3533-3760

### テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781 TEL: 03-3533-3877

電子メール: [support@jpn.sas.com](mailto:support@jpn.sas.com)

(電子メールでご質問をいただく場合、決まった書式があります。最初にSubjectを**help**として、お送りください。)

World Wide Web

<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/index.html>

Oros® ABC/M 5.51 インストレーションガイド

---

2003年 6月30日 第1版第1刷発行

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03(3533)3760

---

**本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。**

SASテクニカルサポート

**TEL: 03 (3533) 3877**

**FAX: 03 (3533) 3781**